



# 大野一心

NO.35

令和5年11月15日（水） 文責：校長 諸熊 修一

## 1年生野外宿泊活動

11月8日（水）～9日（木）の日程で、1年生は烏帽子にある青少年の天地において野外宿泊活動を実施しました。宿泊を伴う1年生最大の学校行事です。私は1日目の午前中は学校で業務を済まして、午後から天地に登りました。

最初のプログラムは、オリエンテーリングです。秋晴れのとても良い天気で、子どもたちと一緒に頂上まで歩きました。途中、ある班の女子が遠くの景色に向かって「ヤッホー」と叫ぶと、



山頂にて。天気も良くて、とてもいい景色でした。

と、山頂から下山してくる一般の方から「ヤッホー」と返していただくなど、微笑ましい光景も見られました。オリエンテーリングのポイントを探すために、草むらの中に入って行き、ジャージにたくさんの草（通称：バカ、ひつつきむし）がついてしまった生徒。「こうちょうせんせ〜い！」と遠くから手を振ってくれた生徒。

出会う生徒出会う生徒がみんな笑顔でした。迷子になる班もなく、全員無事に予定の5分前には集合することができました。



ご飯、チキン南蛮、コーンポタージュ  
ひじき煮、寒天

お楽しみの夕食のメニューは、左の写真のとおりです。男子はもちろんのこと、女子も多くの方がご飯やコーンポタージュのお替りをしていました。特にスープのお替りを10杯以上もした人がいたことを後で聞いて驚きました。山の中を歩いてお腹もペコペコだったのでしょうね。夕食は私も頂きましたが、とてもおいしかったです。（鮮明な画像はHPでご覧ください。）

夕食後に学年の先生方からサプライズがありました。予定では、夕食後はお風呂の時間まで何も活動がなかったのですが、今回の目標の一つである「規律を守ること」がとてもよくできているので、山頂途中の展望台まで夜景を見に行くことが許可されました。各クラス各班まとまって、真っ暗な闇の中、いくつかの懐中電灯を持って出かけました、私も一緒に行きましたが、明かりのほとんどない中で見上げた夜空はとてもきれいで、見とれてしまいました。日頃のストレスが吹き飛ばすようでした。

山頂から戻ってきた全員の無事を見届けて、私は下山しました。宿泊した先生方は徹夜も覚悟していたようですが、ほとんど手を煩（わずら）わせることもなく、先生方も少しは睡眠を取ることができたようです。

2日目は、飯盒炊飯です。昨日とは違って、朝からパラパラと小雨が降っていましたが、炊飯を始める頃には、日差しが照り始め、予定通り実施することができました。私は、3組4班の人たちにお世話になりました。火起こしには悪戦苦闘しましたが、何とか火を起こすことに成功し、飯盒を火にかけ、鍋に具材を入れて調理を始めました。薪をくべたり煙にむせたりしながら、やっと完成しました。出来上がったカレーライスがこれです。(↓)とても美味しかったです。特にご飯がよく炊けて

いました。カレー大好きの私は大盛りで二杯。班の皆さんも口々に「美味しい美味しい」と言って、全



員お替りをしていました。ある人は、「頑張った味がする」という名言を吐いていました。右の写真は、私に美味しいカレーライスを提供してくれた3組4班の皆さんです。木漏れ日の中で食べるカレーライスは最高の味でした。

今回の野外宿泊活動の皆さんの様子を見ていて、感心したことがたくさんありました。「5分前には集合を完了していたこと」「集合した時に生徒の中から『静かにしよう』という言葉が出ていたこと」「飯盒炊飯の後片付けでやり直しがほとんどなかったこと」「個人行動をする人が少なく、班で活動できていたこと」等々。1年生の皆さんの今後の飛躍の可能性を感じた二日間でした。

最後のまとめで学年主任の中村先生からお話があったように、今回の「Good」が次は「Very good」になるように、反省すべきところは反省をして、今後の生活に生かしてほしいと思います。そして、3月の学級解散まで、今回の思い出を胸に、よりいっそう学級の絆を深めていってくれることを願っています。

## 佐世保市中学校音楽発表会

14日(火)にアルカス佐世保において「佐世保市中学校音楽発表会」が実施されました。校内合唱コンクールで最優秀賞を受賞した3年1・7・8組と3年2・8組が本校を代表して出場しました。午前の部の2番目ということで緊張する



のかと思ったのですが、校内合唱コンクールの時のように、指揮者・伴奏者と一緒になって素晴らしい歌声を響かせてくれました。何よりも他校の合唱や最後に披露された先生方による合唱は、アルカスに行かないと聞くことができないので、よい思い出になったのではないのでしょうか。3年生の歌声を聞きながら校内合唱コンクールの時の感動を思い出しました。参加した皆さん、お疲れさまでした。